



## 子どもたちの安全な登下校を見守る

### スクールガード委嘱状交付式

学校安全ボランティア・スクールガードへの委嘱状交付式を4月4日、町役場で行いました。委嘱を受けたスクールガードは、児童の登下校時のパトロールや通学路の確認などを通じ、安全確保に努めます。

代表者の鈴木恵子さん(1区)と佐藤慶蔵さん(14区)に委嘱状を手渡した吉野教育長は「安全で安心なまちづくりにつながるよう力をお借りしたい」と呼びかけました。



## 新入児童の安全な登下校を願う

### 交通安全母の会連合会が黄色い帽子を贈呈

3月24日、交通安全母の会連合会(小野寺祐子会長)が町内小学校へ4月に入学する新入学1年生の交通安全を願い、黄色い帽子と蛍光素材のランドセルカバーの63セット(平泉小47人分、長島小16人分)を町教育委員会に贈りました。

小野寺会長(写真右から2人目)は、吉野教育長に帽子を手渡し「新入生たちの安全な登下校に役立ててほしい」と話していました。



## 安全な交通社会の実現へ

### 町交通指導員に委嘱状を交付

町交通指導員に対する委嘱状交付式を4月6日、町役場で行い、青木町長が交通指導員9人に委嘱状を手渡しました。

青木町長は「全国的に高齢者や子どもが関係する交通事故が多く、日ごろからみんなで交通安全を心掛けることが大事」と語り、活動への協力を求めました。委嘱を受けた指導員たちは、安全な交通社会の実現に向けて決意を新たにしていました。

## 災害などの非常時に飲料を確保へ

### 町がみちのくコカ・コーラボトリングと協定を締結

町とみちのくコカ・コーラボトリング株式会社は4月15日、「災害時における飲料の確保に関する協定」を町役場で締結しました。

協定は、町内で地震や風水害などの災害発生時や発生の恐れがある場合、町が同社に飲料の供給を要請し、同社が速やかに対応するというものです。

青木町長は「災害時の飲料確保は喫緊の課題で、協定は町民の安心感につながる」と意義を強調しました。



## 多くの住民に利用される施設へ

### 町学習交流施設の住民説明会

7月1日にオープン予定の町学習交流施設「エピカ」の施設概要や利用についての住民説明会を3月27日に平泉小学校体育館で行いました。

説明会には、町教育委員会と指定管理者のシダックス大新東ヒューマンサービス(東京都)、町民ら約50人が参加。指定管理者から施設の概要について説明があった後に、参加者からはグランドピアノの利用方法についての質問が出されていました。

## フタバ平泉の新工場が完成

### 「株式会社フタバ平泉」第2工場竣工式

平泉瀬原工業団地で自動車部品の製造を行う株式会社フタバ平泉(梅村次彦代表取締役社長)が、同社敷地内に建設を進めてきた第2工場が完成し、3月30日に同施設内で竣工式が執り行われました。

式には関係者や来賓者約40人が参加し、神事に続きテープカットを行い施設の完成を祝いました。

第2工場は、5月から一部稼働し令和5年1月に本格稼働する予定で、生産性の効率化が期待されます。



## 児童たちが成長を待ち望む

### 長島小で「秀衡桜」の植樹

長島小学校で4月13日、全校児童が参加し「秀衡桜」の植樹が行われました。武蔵坊弁慶の生誕の地で、平泉町の姉妹都市・和歌山県田辺市から贈られた桜の苗木を植え、立派な花が咲くよう願いを込めました。

秀衡桜は、藤原秀衡が熊野詣をした際に子の無事を願い地に刺した杖の木が成長したものとされ、2月には町学習交流施設「エピカ」敷地内にも植えられました。千葉苺佳さん(6年)は「木が大きくなるまで見守りたい」と待ち望み、千葉梨桜さん(同)は「秀衡桜は歴史があるので、大事にしたい」と語っていました。



## 愛称は「よしつね号」と「べんけい号」

### 町コミュニティバス愛称募集の結果発表

町が3月に募集していたコミュニティバスの愛称を、4月1日の本格運行に合わせて発表しました。

複数の応募の中から最も多かった案を採用し、平泉ルートを行う青い車両は「よしつね号」に、長島ルートを行う白い車両は「べんけい号」にそれぞれ決定しました。このうち鳥畑京子さん(3区)は、青い車両は義経の青年らしさ、白い車両は弁慶の白い布をイメージしました。